

It's a Small World



— ミクロの世界をのぞいてみよう —

展示期間 2018年5月29日～7月1日

地球上に最初に生まれた生命体である微生物。昔からバイ菌よばわりされ、嫌われていましたが、人々の生活に役立つ微生物もとても多く存在しています。

そして、生物を構成する細胞、あらゆる物体を構成する分子や原子、さらに細かく見ることで素粒子という存在が明らかになりました。

そんな肉眼では見ることが難しい微生物や分子・原子・素粒子の世界をかいまみて、日々の暮らしに役立ててみませんか？

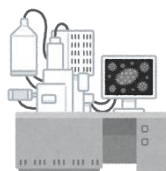
世界はすべて粒でできている？！

『粒でできた世界』 結城千代子／著 田中幸／著 太郎次郎社エディタス

『粒と粉と分子』 板倉聖宣／著 仮説社

顕微鏡でクローズアップ

『ミクロファンタスティック』 西永奨／撮影 考古堂書店（発売）



走査電子顕微鏡による極小の世界の美しさ。肉眼で見る形からは想像もつかない昆虫の触覚や花びらなどを立体的に楽しむことができる。

『デジタル顕微鏡で楽しむ!ミクロワールド美術館』

池田圭一／著 技術評論社

デジタル顕微鏡は顕微鏡とデジタルカメラを合体させたようなものです。塩、公園の砂、入浴剤など身の回りのものをのぞいてみたら…。

『美しい顕微鏡写真』 パイインターナショナル

『世界で一番美しい植物細胞図鑑』

スティーヴン・ブラックモア／著 武井摩利／訳 創元社

『わらうプランクトン』 平井明夫／著 小学館

顕微鏡で拡大してみると、水中のどこにでもいる小さなプランクトンにも様々な「表情」があった！



『ときめく微生物図鑑』 塩野正道／写真 塩野暁子／写真 山と溪谷社

プランクトンの採集方法から細菌・カビ・バクテリアなど様々な微生物のエピソードを顕微鏡写真とともに解説。

微生物ってなんだ？

『休み時間の微生物学』 第2版 北元憲利／著 講談社

『地球とヒトと微生物』 山中健生／著 技術評論社

最古の生物、微生物は誕生当時どのようにしてエネルギーを確保していたのだろうか。地球やヒトに与えた影響・関係を探る。

役に立つ微生物～発酵・燃料

『人を助けるへんな細菌すごい細菌』 中西貴之／著 技術評論社

藍染めなどの染め物も、お酒や納豆などの食品も全部細菌のおかげ。知られていない細菌の力・利用法を学んでみよう。

『図解でよくわかる発酵のきほん』 館博／監修 誠文堂新光社

『発酵食品礼讃』 小泉武夫／著 文芸春秋

『発酵文化人類学』 小倉ヒラク／著 木楽舎

『あなたの知らない乳酸菌力』 後藤利夫／著 小学館

『ミドリムシ大活躍！』 石川憲二／著 日刊工業新聞社



単細胞で光合成も移動もできる不思議な生物。栄養食品や燃料としての可能性を秘めた存在としての展望・研究を紹介。

悪さをするもの?!～ウイルス バイ菌 カビ

『ウイルス・細菌の図鑑』 北里英郎／他著 技術評論社

『ウイルスは人間の敵か味方か』

畑中正一／著 河出書房新社

『よくわかる菌のはなし』 青木皐／著 同文館出版

『好きになる微生物学』 渡辺渡／著 講談社



食中毒やインフルエンザ、デング熱、エボラ出血熱など、感染症や原因となる微生物と人間との関係を解説。

『大腸菌』 カール・ジンマー／著 矢野真千子／訳 日本放送出版協会

『トコトンやさしいカビの本』 カビと生活研究会／編著 日刊工業新聞社

『ナチュラル素材でかんたん除菌&殺菌』 佐光紀子／著 PHP 研究所

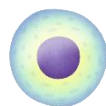
『洗浄と殺菌のはなし』 新名史典／編著他 同文館出版

風邪はうつしたら治るのは本当か。マスクや手袋で食中毒・感染症は防げるのか。正しい洗浄・殺菌の方法、感染経路について学べる。

からだをつくるもの～細胞

『細胞のはたらきがわかる本』 伊藤明夫／著 岩波書店

『細胞の不思議』 永田和宏／著 講談社

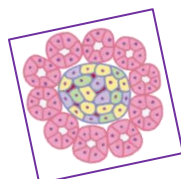
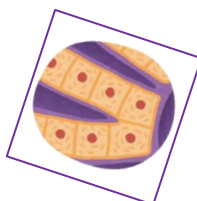
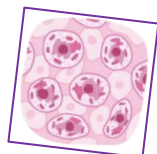


人体の多くの細胞、1日に全細胞の2%が、1年で約90%が入れ替わるといふ。細胞に関する様々なトピックスを取り上げた入門書。

『細胞紳士録』 藤田恒夫／著 牛木辰男／著 岩波書店

人の体を構成する細胞は数十兆と言われている。各々の細胞には得手不得手があり、見た目も様々。彼らの姿・特徴を紹介した1冊。

『カラダの知恵』 三村芳和／著 中央公論新社



さらに小さな世界へ～分子・原子

『あの元素は何の役に立っているのか?』 左巻健男／著 宝島社

アルミニウムからできている 1 円玉はピッタリ 1g のため、米国の理科実験に利用されている。色々な元素の豆知識が盛りだくさんな 1 冊。

『面白くて眠れなくなる元素』 左巻健男／著 PHPエディターズ・グループ

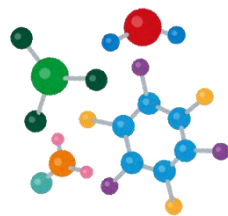
『世界で一番美しい分子図鑑』 セオドア・グレイ／著 武井摩利／訳 創元社

『分子のはたらきがわかる 10 話』 齋藤勝裕／著 岩波書店

最近の研究～iPS 細胞・素粒子

『iPS 細胞』 黒木登志夫／著 中央公論新社

『すごい! iPS 細胞』 齋藤勝裕／著 日本実業出版社



再生医療の実現に向け脚光を浴びる iPS 細胞。そもそも何だろう？

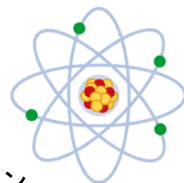
『素粒子とは何か』 ニュートンプレス

『素粒子はおもしろい』 益川敏英／著 岩波書店

『素粒子の世界』 秋本祐希／著 洋泉社

『14 歳のための宇宙授業』 佐治晴夫／著 春秋社

『小さい宇宙をつくる』 藤本順平／著 幻冬舎エデュケーション



もっとも巨大な実験装置・加速器がとらえたヒッグス粒子の謎と、まだ 4%しか理解できていないという宇宙誕生の秘密に迫る。

この他、リストにのせていないものも多数展示しています。

貸出中になっている本は予約ができます。

編集・発行 さいたま市立桜図書館

さいたま市桜区道場4-3-1

TEL048-858-9090

FAX048-858-9091

<https://www.lib.city.saitama.jp/>